

京都市告示第214号

地方公営企業法第40条の2及び京都市公営企業の業務状況公表に関する条例に基づき、平成22年10月1日から平成23年3月31日までの期間における京都市公営企業の業務状況を公表します。

平成23年8月5日

京都市長 門川大作

## 平成22年度後期京都市病院事業業務状況（市立病院）

### 1 事業の概況

当期の病院事業においては、引き続き、患者サービスの向上、病床の有効活用や救急患者の積極的な受入及び事務の効率化など経営改善に努めました。

一般診療関係では、入院患者数は、前年度同期に比べ延べ3,881人（4.8パーセント）増加し、延べ85,008人となり、1日平均では21人増加し、467人となりました。また、外来患者数は、前年度同期に比べ延べ8,672人（5.5パーセント）減少し、延べ149,240人となり、1日平均では73人減少し、1,254人となりました。

一方、感染症診療では、入院患者数は、延べ64人となりました。

診療収入は、入院収益が42億498万円、外来収益が14億6,463万円となり、前年度同期に比べ、入院収益で2億8,165万円（7.2パーセント）の増収、外来収益で2,899万円（2.0パーセント）の増収となり、診療収入全体では3億1,064円（5.8パーセント）の増収となりました。

当期における病院事業の患者数及び収入額は、次のとおりです。

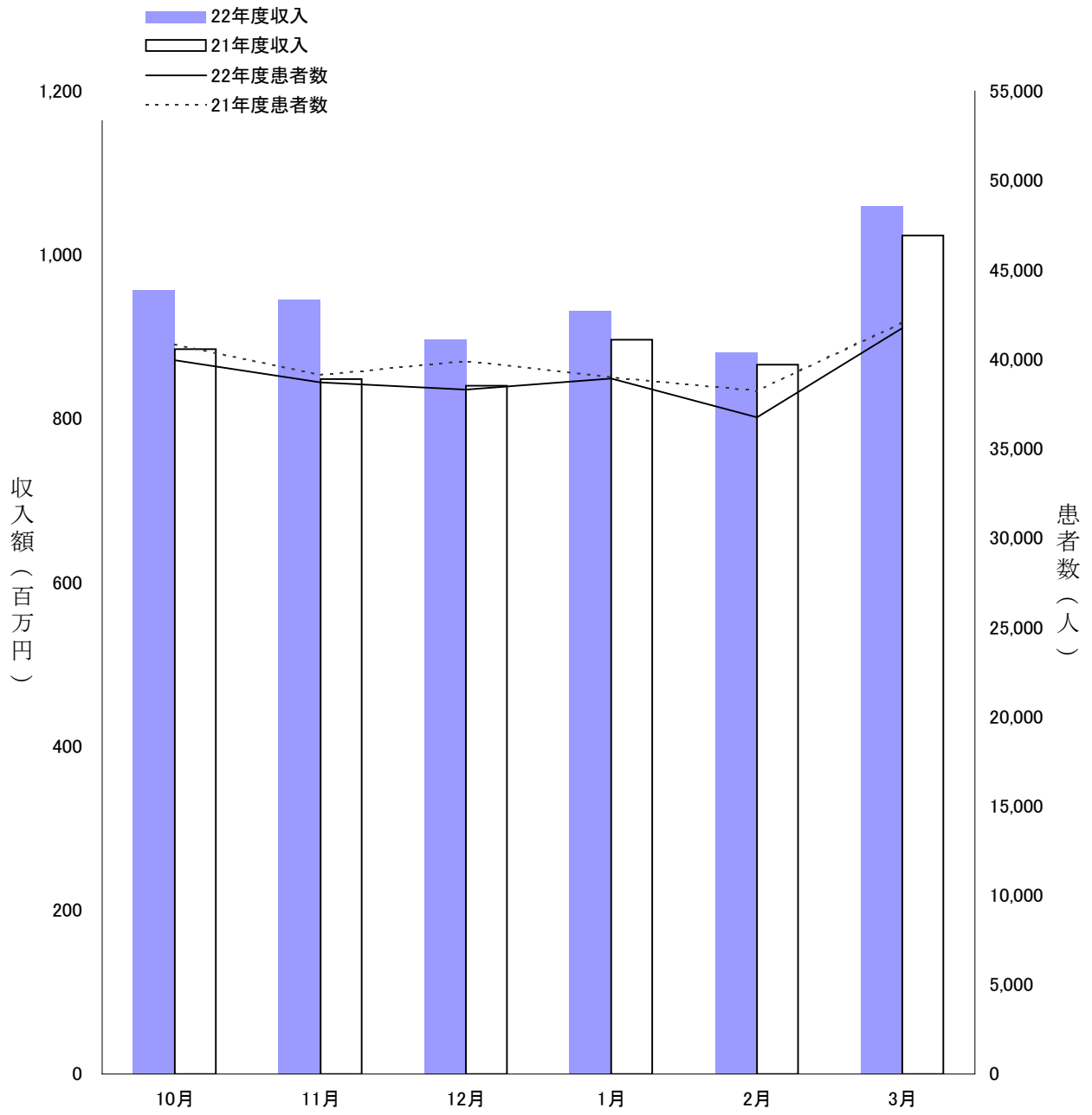
患者数及び収入額

項目 月別	入院		外来		収入額合計
	患者数	収入額	患者数	収入額	
平成22年	人	千円	人	千円	千円
10月	14,722	712,891	25,218	244,405	957,296
11月	13,541	704,257	25,162	240,554	944,811
12月	13,519	661,857	24,759	234,750	896,607
平成23年					
1月	14,421	696,882	24,500	234,310	931,192
2月	13,623	655,172	23,118	225,306	880,478
3月	15,246	773,920	26,483	285,305	1,059,225
合計	85,072	4,204,979	149,240	1,464,630	5,669,609
1日平均	467	23,104	1,254	12,308	35,412
前年度同期1日平均	446	21,557	1,327	12,064	33,621

備考1 営業日数は、入院 182 日、外来 119 日です。

2 入院の患者数及び収入額は、一般診療と感染症診療の合計です。

3 消費税及び地方消費税相当額を含みます。



なお、平成22年度の実績を前年度と比較すると、次のとおりです。

区 分		平成21年度	平成22年度	増 △ 減	
入	一 般 診 療	診 療 日 数	365 日	365 日	0 日
		稼働病床数	540 床	540 床	0 床
		稼働利用率	81.8 %	83.8 %	2.0 ポイ ント
		延べ患者数	161,234 人	165,182 人	3,948 人
		1日平均患者数	442 人	453 人	11 人
院	感 染 症 診 療	診 療 日 数	365 日	365 日	0 日
		稼働病床数	8 床	8 床	0 床
		延べ患者数	223 人	222 人	△ 1 人
	延べ患者数合計	161,457 人	165,404 人	3,947 人	
外 来	診 療 日 数	242 日	243 日	1 日	
	延べ患者数	312,017 人	300,735 人	△ 11,282 人	
	1日平均患者数	1,289 人	1,238 人	△ 51 人	

2 経理の状況

当期における経理の状況は、次のとおりです。

(1) 損益計算書

(平成22年10月1日から平成23年3月31日)

損 失 の 部	金 額	利 益 の 部	金 額
	千円		千円
医 業 費 用	6,699,949	医 業 収 益	7,037,982
給 与 費	3,658,699	入 院 収 益	4,204,979
材 料 費	1,169,029	外 来 収 益	1,464,630
経 費	1,218,563	他 会 計 負 担 金	1,295,723
減 価 償 却 費	614,245	そ の 他 医 業 収 益	72,650
資 産 減 耗 費	8,066	医 業 外 収 益	987,071
研 究 研 修 費	31,347	受 取 利 息 配 当 金	285
医 業 外 費 用	347,145	他 会 計 負 担 金	644,503
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	52,088	他 会 計 補 助 金	209,000
院 内 保 育 所 運 営 費	53,904	国 庫 補 助 金	29,220
雑 支 出	11	府 補 助 金	22,548
消 費 税 及 び 地 方 消 費 税	10,265	そ の 他 医 業 外 収 益	81,515
雑 損 失	230,877		
特 別 損 失	283,640		
建 物 等 除 却 費	283,640		
当 期 純 利 益	694,319		
合 計	8,025,053	合 計	8,025,053

備考 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

(2) 一時借入金の状況

当期末現在の一時借入金は、ありません。

(3) 年間の損益計算書

平成22年度中の損益計算書は、次のとおりです。

(平成22年4月1日から平成23年3月31日)

損 失 の 部	金 額	利 益 の 部	金 額
	千円		千円
医 業 費 用	12,395,276	医 業 収 益	12,274,056
給 与 費	7,020,636	入 院 収 益	7,951,609
材 料 費	2,518,868	外 来 収 益	2,883,358
経 費	2,186,560	他 会 計 負 担 金	1,295,723
減 価 償 却 費	614,245	そ の 他 医 業 収 益	143,366
資 産 減 耗 費	8,066	医 業 外 収 益	1,157,376
研 究 研 修 費	46,901	受 取 利 息 配 当 金	808
医 業 外 費 用	488,059	他 会 計 負 担 金	644,503
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	102,082	他 会 計 補 助 金	209,000
院 内 保 育 所 運 営 費	102,558	国 庫 補 助 金	29,220
雑 支 出	459	府 補 助 金	22,548
雑 損 失	282,960	そ の 他 医 業 外 収 益	251,297
特 別 損 失	283,640		
建 物 等 除 却 費	283,640		
当 期 純 利 益	264,457		
合 計	13,431,432	合 計	13,431,432

備考 消費税及び地方消費税相当額を含みません。

## (2) 貸借対照表

(平成23年3月31日現在)

資 産 の 部	金 額	負債及び資本の部	金 額
	千円		千円
固 定 資 産	7,852,013	流 動 負 債	1,891,229
有 形 固 定 資 産	7,394,473	未 払 金	1,855,413
無 形 固 定 資 産	540	未 払 費 用	1,793
投 資	457,000	前 受 金	2,015
流 動 資 産	5,541,537	預 り 金	508
現 金 預 金	1,745,009	預 り 有 価 証 券	31,500
未 収 金	3,617,729	資 本 金	10,341,612
貯 蔵 品	147,149	自 己 資 本 金	3,894,282
前 払 費 用	150	借 入 資 本 金	6,447,330
保 管 有 価 証 券	31,500	剰 余 金	1,160,709
		資 本 剰 余 金	848,448
		剰 余 金	312,261
合 計	13,393,550	合 計	13,393,550

備考1 有形固定資産の減価償却累計額は、145億7,212万円です。

2 消費税及び地方消費税相当額を含みません。

## 3 その他財政状況を明らかにするために必要な事項

## (1) 企業債の状況

当期における企業債の状況は、次のとおりです。

期首未償還額	当期借入額	当期償還額	期末未償還額
千円	千円	千円	千円
6,223,112	714,000	489,782	6,447,330



## 平成22年度後期京都市病院事業業務状況（京北病院）

### 1 事業の概況

当期の病院事業（京北病院）においては、前期に引き続き病院と診療所、訪問看護ステーションが一体となって、高齢者を中心とする地域住民が必要とする保健・医療・福祉サービスの提供に努めるとともに、平成23年4月の介護療養型老人保健施設の開設に向けた取組を実施しました。

しかしながら、診療体制は常勤医師が2名という厳しい状況が続きました。

診療関係では、入院患者の一般病床では延べ3,972人、療養病床では延べ3,514人で、全体で延べ7,486人となり、前年度同期に比べ延べ952人（11.3パーセント）の減少、また、1日平均では5人減少し、41人となりました。

また、外来患者数は延べ14,841人、診療所の患者数は述べ797人、更に訪問看護患者数の延べ2,419人を合わせた全体で延べ18,057人となり、前年度同期に比べ延べ1,688人（8.5パーセント）の減少、1日平均では14人減少し152人となりました。

診療収入は、入院収益が1億5,834万円、診療所収益及び居宅サービス事業収益を含めた外来収益が1億265万円となり、前年度同期に比べ、入院収益で1,283万円の減収、外来収益で646万円の減収となり、診療収入全体では1,929万円（6.9パーセント）の減収となりました。

当期における京北病院事業の患者数及び収入額は、次のとおりです。

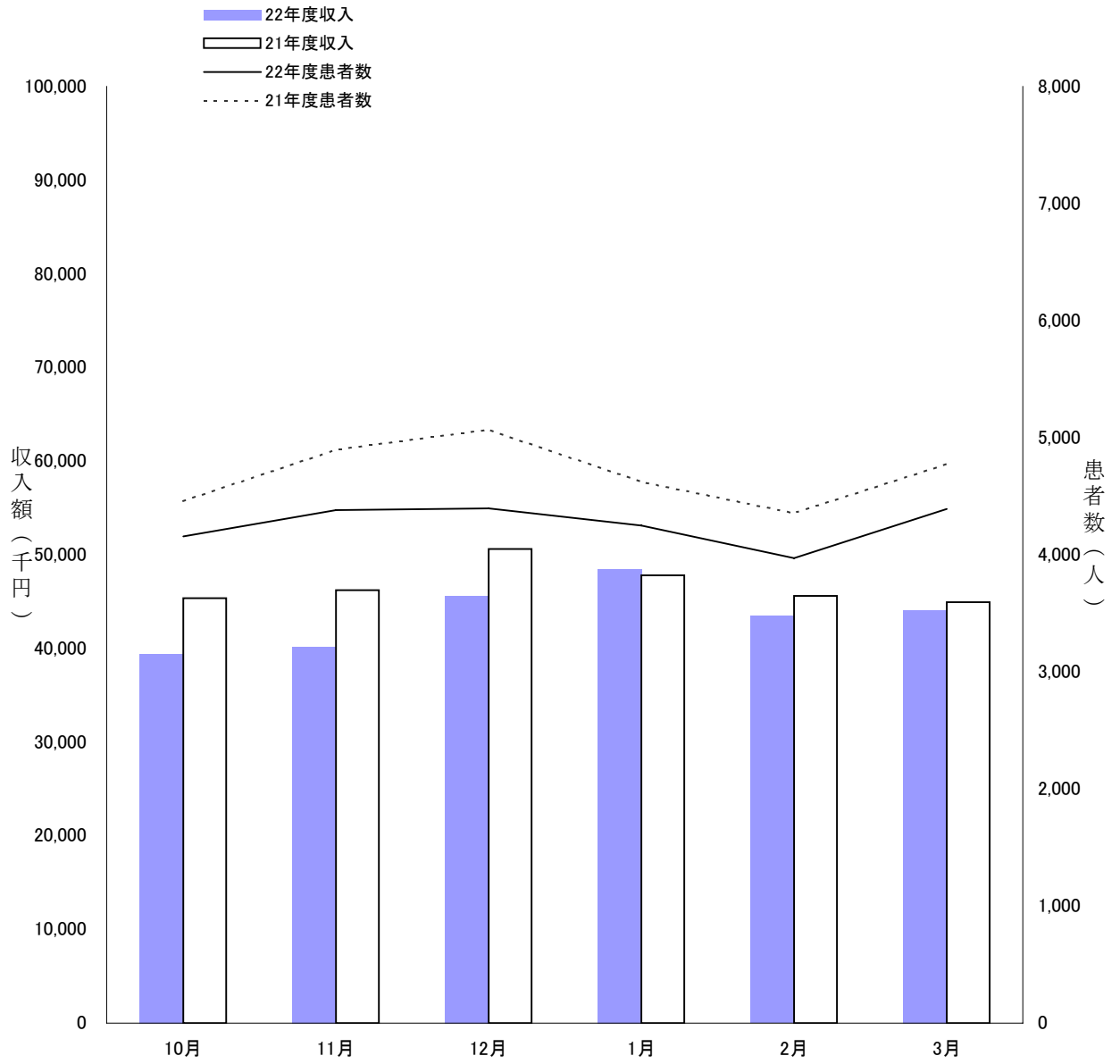
患者数及び収入額

月別 項目	入院		外来		収入額合計
	患者数	収入額	患者数	収入額	
平成22年	人	千円	人	千円	千円
10月	1,060	21,421	3,095	17,986	39,407
11月	1,043	22,816	3,339	17,379	40,195
12月	1,323	28,658	3,072	16,975	45,633
平成23年					
1月	1,568	32,378	2,682	16,102	48,480
2月	1,306	27,823	2,663	15,666	43,489
3月	1,186	25,516	3,206	18,560	44,076
合計	7,486	158,612	18,057	102,668	261,280
1日平均	41	871	152	863	1,734
前年度同期1日平均	46	942	166	917	1,859

- 備考 1 営業日数は、入院 182 日、外来 119 日です。
- 2 入院の患者数及び収入額は、一般診療と療養診療の合計です。
- 3 外来の患者数及び収入額は、病院、診療所及び居宅サービス（訪問看護）の合計です。
- 4 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

(参考) 入院・外来の詳細

区分	患者数	収入額
	人	千円
入院	7,486	158,612
一般診療	3,972	101,721
療養	3,514	56,891
外来	18,057	102,668
病院	14,841	76,361
黒田診療所	153	740
山国診療所	389	1,873
細野診療所	80	424
宇津診療所	175	876
居宅サービス	2,419	22,394



なお、平成22年度の実績を前年度と比較すると、次のとおりです。

区 分		平成21年度	平成22年度	増 △ 減	
入 院	一 般 診 療	診 療 日 数	365 日	365 日	0 日
		稼働病床数	41 床	38 床	△ 3 床
		稼働病床利用率	63.6 %	52.2 %	△ 11.4 ポイント
		延べ患者数	9,520 人	7,665 人	△ 1,855 人
		1日平均患者数	26 人	21 人	△ 5 人
		平均在院日数	20.5 日	18.1 日	△ 2.4 日
	療 養 診 療	診 療 日 数	365 日	365 日	0 日
		稼働病床数	26 床	29 床	3 床
		稼働病床利用率	81.0 %	77.2 %	△ 3.8 ポイント
		延べ患者数	7,683 人	7,538 人	△ 145 人
		1日平均患者数	21 人	21 人	0 人
	延べ患者数合計		17,203 人	15,203 人	△ 2,000 人
	1日平均患者数合計		47 人	42 人	△ 5 人
	外 来	診 療 日 数	242 日	243 日	1 日
延べ患者数		32,523 人	30,454 人	△ 2,069 人	
1日平均患者数		134 人	125 人	△ 9 人	
診 療 所	延べ患者数	2,614 人	1,787 人	△ 827 人	
	1日平均患者数	11 人	7 人	△ 4 人	
居宅サービス事業	延べ患者数	3,870 人	4,814 人	944 人	

(注) 平成22年12月までは、一般診療稼働病床数41床、療養診療稼働病床数26床

## 2 経理の状況

当期における経理の状況は、次のとおりです。

### (1) 損益計算書

(平成22年10月1日から平成23年3月31日)

損 失 の 部	金 額	利 益 の 部	金 額
	千円		千円
医 業 費 用	453,683	医 業 収 益	272,816
給 与 費	284,251	入 院 収 益	158,612
材 料 費	22,334	外 来 収 益	76,361
経 費	104,633	診 療 所 収 益	3,913
減 価 償 却 費	42,036	居 宅 サ ー ビ ス 事 業 収 益	22,394
資 産 減 耗 費	59	他 会 計 負 担 金	0
研 究 研 修 費	370	そ の 他 医 業 収 益	11,536
医 業 外 費 用	14,308	医 業 外 収 益	48,414
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	7,394	受 取 利 息 配 当 金	0
雑 支 出	7	他 会 計 負 担 金	8,999
消 費 税 及 び 地 方 消 費 税	495	他 会 計 補 助 金	25,000
雑 損 失	6,412	国 庫 補 助 金	2,830
特 別 損 失	5,018	府 補 助 金	4,685
特 別 損 失	5,018	そ の 他 医 業 外 収 益	6,900
		当 期 純 損 失	151,779
合 計	473,009	合 計	473,009

備考 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

(2) 一時借入金の状況

当期末現在の一時借入金は、ありません。

(3) 年間の損益計算書

平成22年度中の損益計算書は、次のとおりです。

(平成22年4月1日から平成23年3月31日)

損 失 の 部	金 額	利 益 の 部	金 額
	千円		千円
医 業 費 用	823,862	医 業 収 益	681,999
給 与 費	546,738	入 院 収 益	314,010
材 料 費	43,190	外 来 収 益	161,479
経 費	191,311	診 療 所 収 益	8,695
減 価 償 却 費	42,036	居 宅 サ ー ビ ス 事 業 収 益	45,679
資 産 減 耗 費	59	他 会 計 負 担 金	138,903
研 究 研 修 費	528	そ の 他 医 業 収 益	13,233
医 業 外 費 用	31,124	医 業 外 収 益	81,881
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	15,053	受 取 利 息 配 当 金	0
雑 支 出	110	他 会 計 負 担 金	40,096
消 費 税 及 び 地 方 消 費 税	495	他 会 計 補 助 金	25,000
雑 損 失	15,466	国 庫 補 助 金	2,830
特 別 損 失	5,018	府 補 助 金	4,685
特 別 損 失	5,018	そ の 他 医 業 外 収 益	9,270
		当 期 純 損 失	96,124
合 計	860,004	合 計	860,004

備考 消費税及び地方消費税相当額を含みません。

## (2) 貸借対照表

(平成23年3月31日現在)

資産の部	金額	負債及び資本の部	金額
	千円		千円
固定資産	1,104,449	固定負債	457,000
有形固定資産	1,104,449	長期借入金	457,000
無形固定資産	0	流動負債	102,776
流動資産	198,238	未払金	102,776
現金預金	31,986	預り金	0
未収金	157,390	預り有価証券	0
貯蔵品	8,674	資本金	1,149,823
前払費用	188	自己資本金	740,614
保管有価証券	0	借入資本金	409,209
		剰余金	△ 406,912
		資本剰余金	388,620
		欠損金	795,532
合計	1,302,687	合計	1,302,687

備考1 有形固定資産の減価償却累計額は、10億8,513万円です。

2 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

## 3 その他財政状況を明らかにするために必要な事項

## (1) 企業債の状況

当期における企業債の状況は、次のとおりです。

期首未償還額	当期借入額	当期償還額	期末未償還額
422,560 千円	9,300 千円	22,651 千円	409,209 千円

## 平成22年度後期京都市自動車運送事業業務状況

### 1 事業概況

自動車運送事業（市バス）は、きめ細やかに張り巡らせた路線のネットワークにより、市民生活に欠くことのできない身近な公共交通機関として、また、観光客の便利で手頃な交通手段として、多様な都市活動を支えています。さらに、高齢者や障害のある方への対応、低炭素化社会の実現に向けた自家用車から公共交通への利用転換など、人や環境にやさしい交通機関としてもその重要性を増しています。

しかしながら、交通手段の多様化や景気低迷によるお客様の減少でバス事業を取り巻く経営環境は全国的に厳しく、人口減少社会の到来などにより、今後も厳しい状況が続くと予想されます。

### 2 経営健全化の取組

財政健全化法に基づく新たな経営健全化計画として、平成22年3月に策定した「京都市自動車運送事業経営健全化計画」に基づき、黒字基調を堅持し、一般会計からの任意補助金に頼らない運営を目指すという経営目標に沿って、一層の経営健全化に取り組みました。

#### (1) お客様サービスの向上と増収・増客の取組

秋の観光シーズン等においては、金閣寺 Express、銀閣寺 Express や東山シャトル等の臨時輸送の増強を行うなど、積極的な利用促進に取り組むことに加え、平成23年3月にダイヤ改正を行い、夜間時間帯を中心に地下鉄をはじめとする鉄道との乗継待ち時間の短縮を図るとともに、堀川通での朝ラッシュ時間帯の運行間隔を現行の3～10分から5～7分間隔とし、待ち時間の短縮を図りました。さらに、午後時間帯を中心に混み合うことの多い、祇園や五条坂など東山方面から京都駅へのアクセスを充実させるため、既存系統の一部を九条通から京都駅八条口経由の運行に変更するなど、お客様の利便性向上に努めました。

また、施設等整備については、バス待ち環境の向上策として広告付きバス停上屋の整備を進めるとともに、市バスの接近情報を表示するバスロケーションシステムを5基増設しました。

#### (2) コスト削減の取組

コスト削減策では、給与カットの継続など総人件費の削減に取り組むとともに、経費の節減にも努めました。



## (3) 運輸成績

( 平成22年10月1日から  
平成23年3月31日まで )

区 分		当期	前年同期	増減	増減比率
営業日数 (日)		182	182	-	-
営業キロ数 (km)		455.43	455.03	0.4	0.1%
在籍車両数 (両)		765	765	-	-
使用車両数 (両)	一般路線	121,596 (668)	120,770 (664)	826 (4)	0.7% (0.6%)
	定期観光	359 (2)	380 (2)	△ 21 -	△ 5.5% -
	合計	121,955 (670)	121,150 (666)	805 (4)	0.7% (0.6%)
走行キロ数 (km)	一般路線	14,586,609 (80,146)	14,581,407 (80,118)	5,202 (28)	0.0% (0.0%)
	定期観光	19,677 (108)	22,123 (121)	△ 2,446 (△ 13)	△ 11.1% (△ 10.7%)
	合計	14,606,286 (80,254)	14,603,530 (80,239)	2,756 (15)	0.0% (0.0%)
旅客数 (人)	一般路線	56,102,144 (308,253)	56,389,541 (309,833)	△ 287,397 (△ 1,580)	△ 0.5% (△ 0.5%)
	定期観光	12,128 (67)	12,918 (71)	△ 790 (△ 4)	△ 6.1% (△ 5.6%)
	合計	56,114,272 (308,320)	56,402,459 (309,904)	△ 288,187 (△ 1,584)	△ 0.5% (△ 0.5%)
旅客収入 (千円)	一般路線	8,959,670 (49,229)	9,036,233 (49,650)	△ 76,563 (△ 421)	△ 0.8% (△ 0.8%)
	定期観光	43,330 (238)	46,438 (255)	△ 3,108 (△ 17)	△ 6.7% (△ 6.7%)
	合計	9,003,000 (49,467)	9,082,671 (49,905)	△ 79,671 (△ 438)	△ 0.9% (△ 0.9%)

注1 営業キロ数及び在籍車両数は、各期末現在のものである。

2 使用車両数、走行キロ数、旅客数、旅客収入の( )内は、1日平均の数値である。

3 旅客収入は、消費税及び地方消費税を含む。

(4) 建設改良工事の概況

建設改良工事の主なものは、次のとおりです。

工 事 名	数量	金 額	着 工 年 月 日	しゅん工 年 月 日
バスロケーションシステム拡充	5 基	8,989,050	22.9.17	23.2.25
バス運賃収入システム更新 (機能追加工事含む)	1 式	111,300,000	22.4.1	23.3.23
乗合自動車新造 ハイブリッドノンステップバス 2 両	2 両	65,579,977	22.11.29	23.3.25
運賃箱等車載器更新	1 式	546,075,808	22.5.24	23.3.29

## 2 経理状況

当期における経理の状況は、次のとおりです。

### (1) 損益計算書

平成 22 年 10 月 1 日から  
(平成 23 年 3 月 31 日まで)

損 失 の 部	金 額	利 益 の 部	金 額
	千円		千円
自動車運送事業費用	11,203,997	自動車運送事業収益	10,465,893
営 業 費 用	10,691,847	営 業 収 益	9,403,600
保 存 費	1,164,680	運 送 収 益	9,086,942
運 転 費	4,598,781	そ の 他	316,658
管 理 費	4,150,404	営 業 外 収 益	1,062,293
減 価 償 却 費	777,982	他 会 計 補 助 金	0
営 業 外 費 用	512,150	国 庫 補 助 金	1,056,500
支 払 利 息	62,636	そ の 他	5,793
消 費 税	388,578	特 別 利 益	0
そ の 他	60,936	固 定 資 産 売 却 益	0
特 別 損 失	0		
そ の 他 特 別 損 失	0		
当 期 純 利 益	△ 738,104		
合 計	10,465,893	合 計	10,465,893

備考 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

## (2)貸借対照表

(平成23年3月31日現在)

資産の部	金額	負債及び資本の部	金額
	千円		千円
固定資産	26,934,615	固定負債	800,000
有形固定資産	26,912,383	他会計借入金	800,000
無形固定資産	11,232	流動負債	8,907,827
建設仮勘定	0	一時借入金	4,900,000
投資	11,000	未払金	3,554,372
流動資産	1,877,337	預り金	186,424
現金預金	384,644	前受金	267,031
未収金	1,154,610	資本金	14,738,438
貯蔵品	64,442	自己資本金	6,755,288
前払金	272,907	借入資本金	7,983,150
前払費用	734	剰余金(欠損金)	4,365,687
		資本剰余金	10,906,780
		欠損金	△ 6,541,093
合計	28,811,952	合計	28,811,952

備考1 有形固定資産の減価償却累計額は、187億1,814万円です。

2 消費税及び地方消費税相当額を含みません。

### 3 その他財政事情を明らかにするために必要な事項

#### (1) 企業債の状況

当期における企業債の状況は、次のとおりです。

区 分	期首未償還額	当期借入額	当期償還額	期末未償還額
	千円	千円	千円	千円
建設企業債	9,545,958	764,000	2,326,808	7,983,150
合 計	9,545,958	764,000	2,326,808	7,983,150

#### (2) 一時借入金の状況

当期末現在の一時借入金は、49億円です。

## 平成22年度後期京都市高速鉄道事業業務状況

### 1 事業概況

高速鉄道事業（地下鉄）は、烏丸線と東西線の2路線で市域を東西南北に貫き、他の鉄道路線との接続による広域的な交通ネットワークを形成するとともに、市内に網の目のように張り巡らせた市バス路線と合わせ、市民や観光客の大切な足として多様な都市活動を支え、本市交通の基幹となる役割を果たしています。

高速鉄道事業は、一般的に建設費用が巨額であるため、収支の採算を確保するには極めて長期間を必要とします。本市高速鉄道事業の場合、東西線の建設時期が建設費高騰のバブル期と重なったこともあり、多額の建設費の償還に係る利息及び減価償却費等の負担が大きいうえ、都市の規模が小さいために、採算を取れる旅客数を確保することが極めて難しい状況にあります。また、景気の低迷等によりお客様の数が伸び悩んでいることから、全国一厳しい財政状況となっています。

### 2 経営健全化の取組

財政健全化法に基づく新たな経営健全化計画として、平成22年3月に策定した「京都市高速鉄道事業経営健全化計画」に基づき、将来にわたって地下鉄を安定的に運営していくという経営目標に沿って、一層の経営健全化に取り組みました。

#### (1) お客様サービスの向上と増収・増客の取組

奈良の平城遷都1300年祭の開催に合わせて、京都から奈良へのお出かけに便利な企画乗車券として、本市地下鉄全線と近鉄の一部エリアが乗り放題となる「せんとくん平城京1日電車乗車券」を11月7日までの期間限定で発売しました。

駅ナカビジネスの推進では、都心部に位置し、乗降客の多い四条駅のリニューアルを行い、10月1日に本格的な駅ナカ商業ゾーン「Kotochika（コトチカ）四条」を開業しました。飲食店から生花店まで、全8店舗で多彩に展開し大きな収入を得るとともに、地下鉄のご利用増にも繋げることができました。また、地下鉄両線の結節駅として、主要な役割を果たしている烏丸御池駅についても、駅構内での店舗開業に向けたリニューアルを行い、平成23年度の開業に向けた準備を進めました。

広告事業においても、各駅ホームの駅名表示板の下に、駅周辺の代表的な施設名をPRする広告枠を烏丸線で導入し、東西線についても平成23年度からの導入に向けて鋭意取組を進めるなど、新規広告媒体の導入に努めました。

(2) コスト削減の取組

コスト削減策では、駅職員業務の民間委託化の拡大実施や給与カットの継続など総人件費の削減に取り組むとともに、経費の節減にも努めました。

(3) 運輸成績

( 平成22年10月1日から  
平成23年3月31日まで )

区 分	当期	前年同期	増減	増減比率
営業日数 (日)	182	182	-	-
営業キロ数 (km)	31.2	31.2	-	-
在籍車両数 (両)	222	222	-	-
使用車両数 (両)	45,186 (248)	44,576 (245)	610 (3)	1.4% (1.2%)
走行キロ数 (km)	10,340,692 (56,817)	10,198,801 (56,037)	141,891 (780)	1.4% (1.4%)
旅客数 (人)	59,082,420 (324,629)	58,441,749 (321,109)	640,671 (3,520)	1.1% (1.1%)
旅客収入 (千円)	11,310,740 (62,147)	11,190,810 (61,488)	119,930 (659)	1.1% (1.1%)

注1 営業キロ数及び在籍車両数は、各期末現在のものである。

2 使用車両数、走行キロ数、旅客数、旅客収入の( )内は、1日平均の数値である。

3 旅客収入は、消費税及び地方消費税を含む。



(4) 建設改良工事の概況

建設改良工事の主なものは、次のとおりです。

工 事 名	数量	金 額	着 工 日 年 月 日	しゅん工 年 月 日	備 考
10系車両用車輪 (第10編成)	一式	18,654,720	21.10.20	22.6.16	
50系車両蓄電池	一式	18,480,000	21.12.2	22.7.20	
A T S 論理装置用試験器	一式	39,165,000	21.12.2	22.6.30	
10系車両 A T S 送受信器	一式	97,020,000	21.12.22	23.3.28	
A T S 送受信器用試験器	一式	34,650,000	21.12.22	22.6.30	
10系車両用車輪 (第11編成)	一式	18,654,720	21.12.25	22.8.19	
50系車両用車輪 (第02編成)	一式	21,147,000	21.12.25	23.3.11	
10系車両車体及びびぎ装 A T S 装置更新改修業務	一式	71,925,000	22.1.22	23.3.28	
10系車両 A T S 論理装置	一式	127,050,000	22.1.29	23.3.28	
烏丸線連動装置更新工事 (北大路駅)	一式	122,640,000	22.3.3	23.2.23	
烏丸線電力管理用光ケーブル敷設工事	一式	39,952,500	22.3.5	23.2.22	
放送設備更新工事	一式	154,875,000	22.3.9	23.3.31	
地下鉄四条駅リニューアル工事その2	一式	465,255,000	22.5.1	22.9.30	
烏丸線電気作業車製作	一式	24,675,000	22.6.26	22.12.21	
50系車両蓄電池	一式	21,000,000	22.6.26	23.2.28	
10系車両 A T S 送受信器	一式	36,120,000	22.7.16	継続中	
烏丸線 A T C 現場設備等更新工事その1	一式	73,395,000	22.7.23	23.3.30	
10系車両 A T S 論理装置	一式	42,462,000	22.7.27	継続中	

工 事 名	数量	金 額	着 工 年 月 日	しゅん工 年 月 日	備 考
東西線油圧作業台付作業車 (MR844型) 分解点検整備	一式	16,800,000	22.7.31	23.2.16	
10系車両ユニットクーラー	一式	30,996,000	22.8.11	23.3.15	
10系車両ブレーキ電機部品	一式	15,519,000	22.8.11	23.3.28	
東西線信号保安設備改良工事 その3	一式	71,400,000	22.8.24	23.3.30	
10系車両S R指令無線装置	一式	43,890,000	22.9.14	継続中	
10系車両I R無線装置	一式	41,601,000	22.9.14	23.3.30	
烏丸線丸太町駅冷凍機更新工 事	一式	38,724,000	22.9.28	23.3.28	
10系車両蓄電池	一式	14,490,000	22.9.30	23.2.25	
烏丸線今出川駅他動力遠方操 作盤等改修工事	一式	42,315,000	22.11.17	23.3.28	
烏丸線駅舎照明設備更新工事 (鞍馬口駅)	一式	68,260,500	22.11.25	継続中	
烏丸線駅舎照明設備更新工事 (北大路駅)	一式	68,250,000	22.11.25	継続中	
東西線放送設備更新工事	一式	47,334,000	22.12.14	23.3.29	
烏丸線駅電気室制御用蓄電池 鉛化工事(北大路駅他)	一式	56,700,000	22.12.25	継続中	
烏丸線行先案内表示設備更新 工事その5	一式	24,927,000	22.12.28	23.3.17	
事業用電話交換機更新工事	一式	95,025,000	22.12.28	23.3.31	
竹田車両基地部品洗浄装置	一式	25,935,000	23.1.12	23.3.29	
東西線通信用電源装置更新工 事その1	一式	24,675,000	23.1.14	23.3.31	
50系車両蓄電池	一式	10,710,000	23.1.22	継続中	
烏丸御池駅コンコース改修工 事(電気)	一式	10,301,550	23.1.25	継続中	
東西線I T V制御装置更新工 事	一式	98,175,000	23.1.27	23.3.31	

工 事 名	数量	金 額	着 工 年 月 日	しゅん工 年 月 日	備 考
烏丸線連動装置更新工事（京都駅）	一式	135,345,000	23.1.29	継続中	
10系車両低圧電源装置更新	一式	67,837,350	23.2.15	継続中	
定期券発行機更新工事その5	一式	58,800,000	23.2.15	23.3.29	
50系車両運転状況記録装置	一式	23,310,000	23.2.17	継続中	
烏丸線姉小路変電所電力設備更新工事	一式	946,890,000	23.2.19	継続中	
10系車両車体及びびぎ装ATS装置更新改修業務	一式	44,100,000	23.2.25	継続中	
高速鉄道湧水排水対策工事	一式	78,540,000	23.3.10	継続中	
高速鉄道湧水排水対策工事監理業務委託	一式	16,800,000	23.3.10	継続中	
鉄道施設の譲渡に対する対価等の支出	一式	4,865,467,135	23.3.31	23.3.31	

## 2 経理状況

当期における経理の状況は、次のとおりです。

### (1) 損益計算書

(平成22年 10月 1日から  
平成23年 3月 31日まで)

損 失 の 部	金 額	利 益 の 部	金 額
	千円		千円
高速鉄道事業費用	20,834,297	高速鉄道事業収益	13,824,400
営業費用	14,338,395	営業収益	12,091,258
保存費	3,473,119	運輸収益	11,360,654
運転費	1,259,415	その他	730,604
運輸費	2,044,590	営業外収益	1,733,142
管理費	1,144,564	受取利息及び配当金	0
減価償却費	6,416,707	他会計補助金	1,704,826
営業外費用	5,995,067	その他	28,316
支払利息	5,158,885	特別利益	0
その他	836,182	その他特別利益	0
特別損失	500,835		
固定資産売却損	500,835		
その他特別損失	0		
		当期純損失	7,009,897
合 計	20,834,297	合 計	20,834,297

備考 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

## (2) 貸借対照表

(平成23年3月31日現在)

資産の部	金額	負債及び資本の部	金額
	千円		千円
固定資産	575,218,305	固定負債	187,785,618
有形固定資産	564,642,256	企業債	140,294,795
無形固定資産	10,192,677	その他固定負債	47,490,823
建設仮勘定	303,772	流動負債	33,779,085
投資	79,600	一時借入金	27,100,000
流動資産	2,938,863	未払金	4,544,260
現金預金	639,548	預り金	247,422
未収金	1,782,500	前受金	553,460
貯蔵品	24,208	仮受金	1,333,943
前払金	491,547	資本金	458,682,633
前払費用	1,060	自己資本金	179,398,452
繰延勘定	253,939	借入資本金	279,284,181
企業債発行差金	253,939	剰余金(欠損金)	△ 101,836,229
		資本剰余金	226,550,810
		欠損金	△ 328,387,039
合計	578,411,107	合計	578,411,107

備考1 有形固定資産の減価償却累計額は、2060億7591万円です。

2 消費税及び地方消費税相当額を含みません。

### 3 その他財政事情を明らかにするために必要な事項

#### (1) 企業債等の状況

当期における企業債等の状況は、次のとおりです。

区 分	期首未償還額	当期借入額	当期償還額	期末未償還額
	千円	千円	千円	千円
建設企業債	252,672,239	1,479,000	18,748,622	235,402,617
出 資 債	32,000	0	0	32,000
特 例 債	15,138,667	925,000	2,249,274	13,814,393
資本費負担緩和 分 企 業 債	87,582,485	0	1,672,083	85,910,402
資本費平準化債	30,312,000	10,258,000	0	40,570,000
鉄道 ・ 運輸 機 構 借 入 金	52,356,290	0	4,865,467	47,490,823
長 期 借 入 金	44,685,240	0	835,676	43,849,564
合 計	482,778,921	12,662,000	28,371,122	467,069,799

#### (2) 一時借入金の状況

当期末現在の一時借入金は271億円です。

## 平成22年度後期京都市水道事業業務状況

### 1 事業の概況

#### (1) 概況

当期有収水量は、前年度同期に比べ23万立方メートル（0.3パーセント）増加し、8,706万立方メートルとなり、1日最大給水量は、前年度に比べ3,780立方メートル（0.6パーセント）減少の61万1,200立方メートルとなりました。

給水収益は、前年度同期に比べ2,759万円（0.2パーセント）増加となり、140億4,686万円となりました。また、当期総収益は、151億4,205万円となり、一方、当期総費用は、221億8,377万円となりました。

建設改良事業は、上水道施設整備事業として、若王子取水池増設工事、蹴上浄水場第2最高区配水池管路改良工事及び新山科浄水場低区配水池内面改良（その3）工事等を施工し、幹線配水管布設替え及び相互連絡管布設（延長1.6キロメートル）、支線配水管布設及び布設替え（延長17.2キロメートル）等を施工しました。

(2) 前年度実績との比較

平成22年度の実績を前年度と比べると、次のとおりです。

項目	単位	平成22年度	平成21年度	増減比率(%)
利用者数	件	740,606	738,654	0.26
年間給水量	m <sup>3</sup>	204,795,990	203,680,590	0.55
年間有収水量	m <sup>3</sup>	176,339,032	175,892,075	0.25
有収率	%	86.1	86.4	△ 0.3
1日平均給水量	m <sup>3</sup>	561,085	558,029	0.55
1日最大給水量	m <sup>3</sup>	611,200	614,980	△ 0.61
1日平均有収水量	m <sup>3</sup>	483,121	481,896	0.25
使用電力量	kwh	43,335,242	43,063,490	0.6
次亜塩素酸注入量	m <sup>3</sup>	2,193	2,076	5.6
水道料金	千円	27,197,848	27,131,721	0.24
総収益	千円	29,274,366	29,343,267	△ 0.23
総費用	千円	27,988,878	28,261,396	△ 0.96

備考 消費税及び地方消費税相当額を含みません。



## 2 経理の状況

当期における経理の状況は、次のとおりです。

### (1) 損益計算書

(平成22年10月1日から平成23年3月31日まで)

損 失 の 部	金 額	利 益 の 部	金 額
	千円		千円
水道事業費用	22,183,771	水道事業収益	15,142,050
営業費用	19,085,320	営業収益	15,078,158
原水費	562,999	給水収益	14,046,864
浄水費	2,007,914	他会計負担金	38,592
配水及び給水費	3,039,148	その他営業収益	992,702
業務費	1,416,350	営業外収益	63,892
総係費	1,567,559	受取利息	7,643
減価償却費	10,236,020	他会計補助金	12,190
資産減耗費	255,330	雑収益	44,059
営業外費用	3,098,451		
支払利息及び 企業債取扱諸費	1,919,094		
繰延勘定償却	8,732		
雑支出	19,323		
消費税及び地方 消費税調整額	531,899		
消費税及び地方消 費税納税額	619,403		
		当期純損失	7,041,721
合 計	22,183,771	合 計	22,183,771

備考 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

## (2) 貸借対照表

(平成23年3月31日現在)

資 産 の 部	金 額	負債及び資本の部	金 額
	千円		千円
固 定 資 産	280,140,126	固 定 負 債	3,270,934
有 形 固 定 資 産	275,916,327	企業債償還積立金	1,966,790
無 形 固 定 資 産	2,306,130	引 当 金	1,304,144
投 資	1,917,669		
		流 動 負 債	5,204,139
流 動 資 産	15,918,594	未 払 金	4,285,539
現 金 預 金	5,729,386	前 受 金	439,213
未 収 金	2,874,557	預 り 金	279,387
貯 蔵 品	373,627	預 り 有 価 証 券	200,000
保管有価証券	200,000		
短期貸付金	6,500,000	資 本 金	188,730,014
前 払 金	230,240	自 己 資 本 金	27,886,532
繰 延 勘 定	10,784	借 入 資 本 金	160,843,482
企業債発行差金	10,784		
		剰 余 金	98,853,633
		資 本 剰 余 金	92,561,408
		利 益 剰 余 金	6,292,225
合 計	296,058,720	合 計	296,058,720

備考 1 有形固定資産の減価償却累計額は、1,896億9,528万円です。

備考 2 消費税及び地方消費税相当額を含みません。

### 3 その他財政事情を明らかにするために必要な事項

#### (1) 企業債の状況

当期における企業債の状況は、次のとおりです。

(平成23年3月31日現在)

区 分	期首未償還額	当期借入額	当期償還額	期末未償還額
	千円	千円	千円	千円
建設企業債	157,764,349	10,001,000	4,955,077	162,810,272
合 計	157,764,349	10,001,000	4,955,077	162,810,272

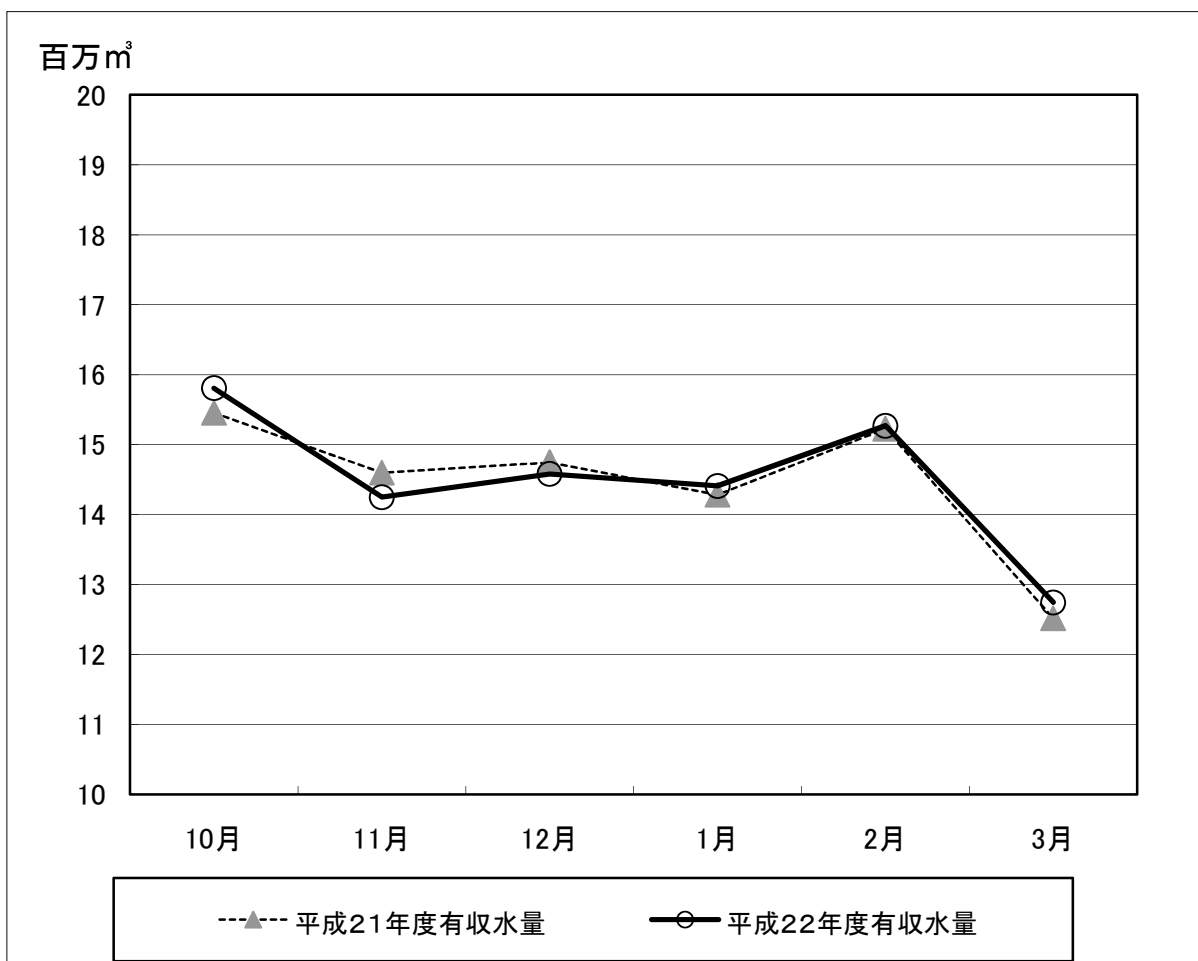
#### (2) 一時借入金の状況

当期末現在の一時借入金は、ありません。

(3) 有収水量

当期における有収水量は、次のとおりです。

月別 / 項目	有収水量
平成	m <sup>3</sup>
22年 10月	15,807,745
〃 11月	14,249,811
〃 12月	14,582,259
23年 1月	14,410,442
〃 2月	15,268,988
〃 3月	12,743,884
合計	87,063,129
1日平均	478,369
前年同期1日平均	477,073



## 平成22年度後期京都市公共下水道事業業務状況

### 1 事業の概況

#### (1) 概況

当期有収汚水量は、前年度同期に比べ102万立方メートル（1.1パーセント）増加し、9,569万立方メートルとなり、1日最大流入下水量は、前年度に比べ129万1,800立方メートル（50.6パーセント）増加の384万1,010立方メートルとなりました。

下水道使用料は、前年度同期に比べ1億8,862万円（1.5パーセント）増加となり、128億6,264万円となりました。また、当期総収益は、229億9,765万円となり、一方、当期総費用は、345億1,352万円となりました。

建設改良事業について、管渠<sup>きよ</sup>では、前年度に引き続き七条東幹線、河原町分流幹線等の各幹線工事を施工しました。

ポンプ場では、住吉ポンプ場で監視制御設備の工事を施工しました。

終末処理場では、前年度に引き続き鳥羽水環境保全センターで階段炉乾燥設備の工事を、伏見水環境保全センターで合流系雨水ポンプ設備の工事を施工しました。また、石田水環境保全センターで特高受変電設備の工事を施工しました。

(2) 前年度実績との比較

平成22年度の実績を前年度と比べると、次のとおりです。

項目	単位	平成22年度	平成21年度	増減比率(%)
整備区域	ha	15,244	15,234	0.07
年間流入下水道量	m <sup>3</sup>	337,906,590	314,310,760	7.51
年間有収汚水量	m <sup>3</sup>	192,757,312	191,264,418	0.78
1日平均流入下水道量	m <sup>3</sup>	925,770	861,130	7.51
1日最大流入下水道量	m <sup>3</sup>	3,841,010	2,549,210	50.67
年間平均有収汚水量	m <sup>3</sup>	528,102	524,012	0.78
年間下水処理量	m <sup>3</sup>	337,623,850	313,531,710	7.68
使用電力量	kwh	103,621,475	102,001,420	1.59
整備管渠延長	m	5,414,084	5,399,689	0.27
下水道使用給水装置数	件	537,777	536,299	0.28
下水道使用料	千円	24,666,101	24,381,193	1.17
総収益	千円	46,999,033	42,859,107	9.66
総費用	千円	43,196,412	44,168,568	△ 2.20

備考 消費税及び地方消費税相当額を含みません。

## 2 経理の状況

当期における経理の状況は、次のとおりです。

### (1) 損益計算書

(平成22年10月1日から23年3月31日まで)

損 失 の 部	金 額	利 益 の 部	金 額
	千円		千円
公 共 下 水 道 事 業 用	34,513,523	公 共 下 水 道 事 業 収 益	22,997,653
事 業 費 用	28,646,491	事 業 収 益	22,670,541
下 水 道 維 持 費	1,426,685	下 水 道 使 用 料	12,862,642
下 水 処 理 費	5,574,851	他 会 計 負 担 金	9,594,763
業 務 費	686,174	そ の 他 事 業 収 益	213,136
水 洗 便 所 普 及 対 策 費	76,610		
総 係 費	1,131,776	事 業 外 収 益	327,112
減 価 償 却 費	19,173,864	受 取 利 息	5,349
資 産 減 耗 費	576,531	他 会 計 負 担 金	194,483
事 業 外 費 用	5,867,032	他 会 計 補 助 金	57,830
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	4,845,167	国 庫 補 助 金	1,473
繰 延 勘 定 償 却	27,236	雑 収 益	67,977
雑 支 出	21,448		
消 費 税 及 び 地 方 消 費 税 調 整 費	572,417		
消 費 税 及 び 地 方 消 費 税 納 税 額	400,764	当 期 純 損 失	11,515,870
合 計	34,513,523	合 計	34,513,523

備考 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

## (2) 貸借対照表

(平成23年3月31日現在)

資 産 の 部	金 額	負債及び資本の部	金 額
	千円		千円
固 定 資 産	881,341,864	固 定 負 債	36,580,846
有形固定資産	878,278,877	企業債償還金	21,469,719
無形固定資産	3,023,036	企 業 債	14,319,450
投 資	39,951	引 当 金	791,677
流 動 資 産	23,743,316	流 動 負 債	10,209,807
現金預金	12,753,066	未 払 金	9,556,004
未 収 金	4,479,052	前 受 金	357,233
貯 蔵 品	3,937	預 り 金	102,570
保管有価証券	194,000	預り有価証券	194,000
短期貸付金	5,000,000		
前 払 金	1,313,261	資 本 金	515,837,119
繰 延 勘 定	30,943	自 己 資 本 金	165,002,063
企業債発行差金	30,943	借 入 資 本 金	350,835,056
		剰 余 金	342,488,351
		資 本 剰 余 金	342,088,826
		利 益 剰 余 金	399,525
合 計	905,116,123	合 計	905,116,123

備考 1 有形固定資産の減価償却累計額は、3,809億4,914万円です。

2 消費税及び地方消費税相当額を含みません。



### 3 その他財政事情を明らかにするために必要な事項

#### (1) 企業債の状況

当期における企業債の状況は、次のとおりです。

(平成23年3月31日現在)

区 分	期首未償還額	当期借入額	当期償還額	期末未償還額
	千円	千円	千円	千円
建設企業債	376,346,833	18,309,000	22,737,608	371,918,225
資本費平準化債	7,731,000	6,975,000	0	14,706,000
合 計	384,077,833	25,284,000	22,737,608	386,624,225

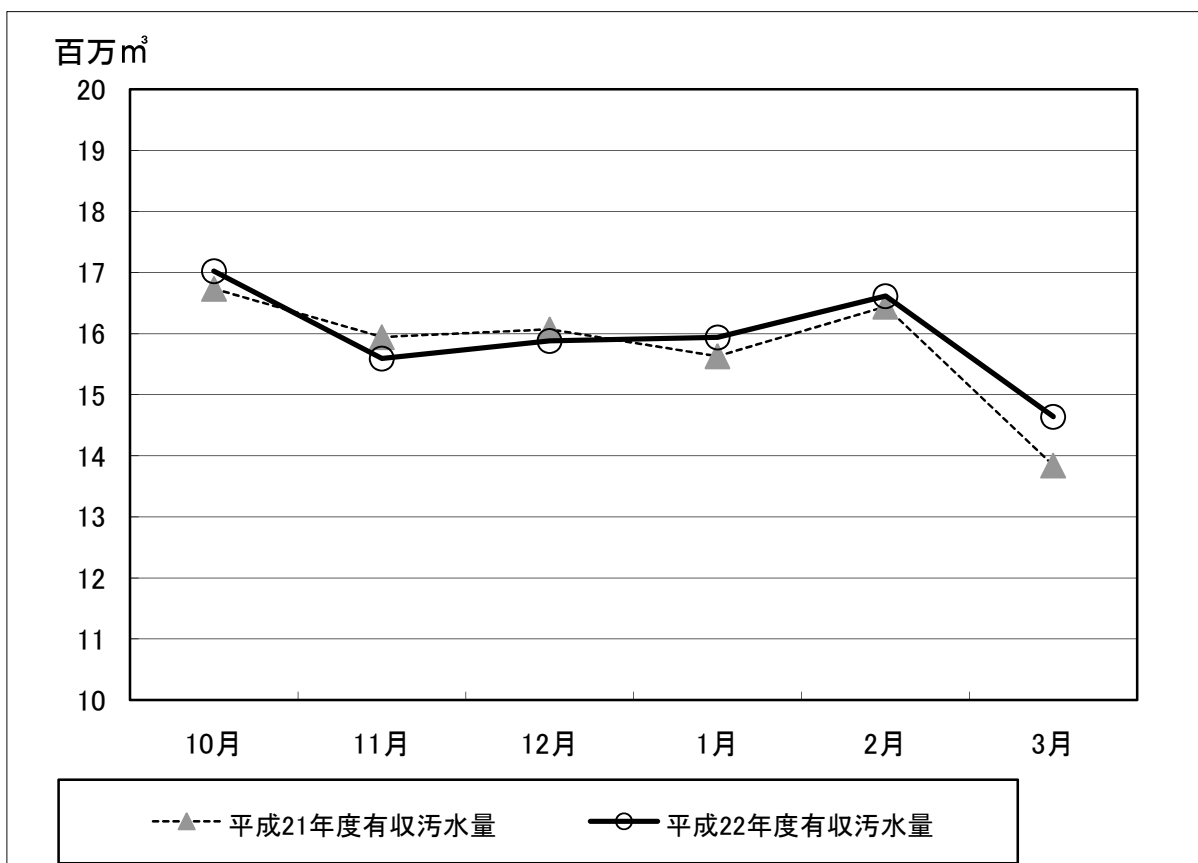
#### (2) 一時借入金の状況

当期末現在の一時借入金は、ありません。

(3) 有収汚水量

当期における有収汚水量は、次のとおりです。

月別 / 項目	有収汚水量
平成	m <sup>3</sup>
22年 10月	17,023,361
〃 11月	15,593,275
〃 12月	15,881,789
23年 1月	15,938,320
〃 2月	16,615,810
〃 3月	14,638,749
合計	95,691,304
1日平均	525,776
前年同期1日平均	520,149



(行財政局総務部総務課)